

西大和つうしん

2011年 4月号

No.346



伊吹山・三合目付近(3/13)

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第346号(2011年4月号)

【目次】

山行計画	-----	1
4月度・5月度カレンダー	-----	2
公開山行《2月20日》台高山脈 三峰山(林)	-----	3・4
例会山行2《2月27日》鈴鹿の山 霊仙山(藤井)	-----	5
自主山行《3月5日》淡路の山 諭鶴羽山(杉村)	-----	6
例会山行1《3月13日》湖北の山 伊吹山(藤本)	-----	7
例会山行2《3月20日》三重の山 七洞山(内田)	-----	8
室内例会だより	-----	9

4 月 度 山 行 計 画

～台高山脈縦走路の秘峰を目ざす

4月3日(日)

例会山行1 台高山脈《山の神》(L:三島)

【集 合】 上牧町役場P 6:30発

【コース】 三之谷林道終点～773m峰の鞍部～904m峰～山の峰～
904m峰～773m峰の鞍部～三之谷林道終点

～三重県の山・南鈴鹿の低山を歩きましょう

4月10日(日)

例会山行2 三重県の山《筆捨山～羽黒山》(L:田中初)

【集 合】 上牧町役場P 8:00発

【コース】 関ロッジP～観音山登山口～筆捨山～羽黒山～関富士～関ロッジP
《歩行タイム 約4:30》

30周年記念登山バス

～舟伏山頂からの展望は能郷白山が一望できます

4月24日(日)

記念山行 岐阜県奥美濃 《舟伏山》(L:田中悦)

【集 合】 JR王寺駅 6:30発

【コース】 あいの森(10:00)～桜峠(10:50)～みわの平(11:30)～
舟伏山頂上(12:30/13:10)～展望台(13:40)～祠(13:45)
あいの森(14:30)

【主な花】 カタクリ・ニリンソウ・岩桜

西大和山の会 カレンダー

4 月		5 月	
1	金	1	日
2	土	2	月
3	日	3	火
4	月	4	水
5	火	5	木
6	水	6	金
7	木	7	土
8	金	8	日
9	土	9	月
10	日	10	火
11	月	11	水
12	火	12	木
13	水	13	金
14	木	14	土
15	金	15	日
16	土	16	月
17	日	17	火
18	月	18	水
19	火	19	木
20	水	20	金
21	木	21	土
22	金	22	日
23	土	23	月
24	日	24	火
25	月	25	水
26	火	26	木
27	水	27	金
28	木	28	土
29	金	29	日
30	土	30	月
		31	火

例会山行1 **山の神** (三島)

例会山行2 **筆捨山** (田中初)

記念山行 **金剛山~
金北山~白雲台**
(島崎)

ハイカーのための搬出訓練

原稿締切日

原稿締切日

例会山行2 **赤坂山** (内田)

記念山行 **舟伏山** (田中悦)

室内例会

室内例会

例-山行 **金剛山** (田中初)

公開山行
台高の山 《三峰山》

【日程】 2011年2月20日(日) 薄曇り

【参加者】 CL 林・SL 田中(悦)・田中(初)・島崎・辻・藤本・藤井・内田・多賀・
村田・高橋・窪田・一般参加者9名

【コースタイム】 青少年旅行村(10:36)→林道登山口(11:00)→不動の滝
(13:20)→避難小屋(12:18/13:0)→三峰山頂(13:25/13:35)→
八丁平(13:30)→三峰峠(13:45)→新道峠(14:25)→林道終点
(14:50)→青少年旅行村(15:35)

青少年旅行村広場で、参加者紹介と人数を確認全員で21名となりA・B班と分かれて不動滝コース登山口へ出発。登山口では積雪も有り、全員アイゼンを装着して植林帯の道をゆるく不動滝まで登り休憩、気温は滝が凍る程は低く無く、氷柱混じりで流れ落ちていた。

造林小屋迄登りつめて、B班と合流し、屋外で昼食を取る。一般参加の方は急登の雪道でペースが掴めず疲れている様子で、口数も少なく昼食を取り、食後のコーヒーを楽しんでもらい三峰山頂へ。

この辺りからの霧氷と雪山を楽しみにしていたが、期待が外れ、その替わり山頂では展望が開け、曾爾方面山、鈴鹿山系、台高山系まで展望でき、全員で記念撮影。

八丁平迄雪道を少し下ると、平原状の鞍部が開けて、霧氷の替わりに、眼下に飯高町の集落と南に冠雪の大台の山並みの眺望を楽しめた。

A班は薄曇りの空にクッキリと聳える高見山の雄姿に見とれて、登り尾コースに折れる分岐をうっかり見落とし、そのまま緩い降りに沿い、新道コースの尾根筋を進んで、少し下った処で気付き(13:55)現在位置の確認と、B班リーダーへ携帯での連絡が取れたので、このまま新道コースを下山する事を報告し、同行者にもルートの変更と下山予定時刻の報告をして下山を開始する。

新道コースは、自然林の続く尾根筋で、新雪に近い雪道を緩やかに新道峠まで降り、新道峠の分岐からは展望の利かない植林帯の急坂を、時間を気にしながらの下山と成ったが、全員造林小屋まで降りた処で携帯が通じ、B班リーダーに報告を入れ小休止を取る。

一般参加の方も、慣れないアイゼンでの歩きに、少し疲れた様子だったが、後は合流のバス停まで、雪の残る舗装の林道を緩やかに下り、青少年旅行村でB班と合流する。近鉄榛原駅迄バスで帰解散。

今日の公開山行は、一般の方と冬季の樹氷、霧氷の美しさを楽しむ目的の山行でしたが、前日迄の天気良過ぎて、予想が外れ残念、そしてハプニングの反省！

今回初めて参加の方(女性がほとんど)に多数来て戴き、次回に繋る公開山行でした。
(報告者:林)



《A班のみなさん》



《B班のみなさん》

例会山行
鈴鹿の山《靈仙山》

【日 程】2011年2月27日(日) 晴れ

【参加者】L藤井、島崎、辻、多賀、林、村田、勝尾、杉村、内田

【コースタイム】上牧役場(6:30)～今畑(9:10/9:20)～廃村(9:30/9:35)
～笹峠(10:50)～近江展望台(11:55/12:25)～最高点(13:40)
～靈仙山(13:57/14:00)～経塚山(14:18)～お虎ヶ池(14:45)
～汗フキ峠(15:50/15:54)～落合(16:30)～今畑(16:37)

今年の冬は寒くて積雪は多かったが2月後半になって暖かい日が続いている。おかげで、心配していた道路の凍結はなく予定通り今畑まで車で入ることができた。

アイゼンを装着し、急坂を10分ほど登ると今畑の廃村に着く。

まだ立派な寺や家屋が残っていて、人が住んでいそうな気配。

急坂がしばらく続くが、やがて植林の中の穏やかな道になる。気温が高く雪はところどころ溶けてしまっている。笹峠まではコースタイムより、ずいぶん時間がかかった。笹峠から草付きの急登を一気に登って尾根に出る。振り返ると鈴鹿の山々の素晴らしい眺め。尾根に乗ると360度の展望が広がり琵琶湖も見えてくる。天気良すぎて残念ながら霧氷はまったくなし。

風もなく暖かい近江展望台で昼食にする。尾根の続きには靈仙山や経塚山をはじめ広い雪原が広がっている。その先にはどっしりと美しい姿の伊吹山が聳え立っていた。この西南稜はもう一月もすれば可愛い福寿草が咲きほこるのだが、今はじっと雪の下で耐えているのかな。

雪が柔らかく、ところどころ陥没して歩きにくい。広い頂上でも登山者には出会わなかった。薄い踏み跡をたどって下山するが、踏み跡が交錯しているところもあって、慎重に下る。下るにつれて溶け出した雪と泥まじりの急な道になり、あちこちですってんころりん。汗フキ峠でやっと一息ついた。

峠からは沢沿いになり雪の踏み跡がデコボコについていて、これがまた歩きにくい。もう少しだと思うのにこの道が延々と長かった。

予定時間を少しオーバーして今畑に無事到着。天気も展望も良かったのに、人に会わず静かな山を楽しめた。(藤井 記)

自主山行
淡路の山 《 諭鶴羽山 》

【日 程】 2011年3月5日(土)

【参加者】 L辻・藤井・村田・杉村

【コースタイム】 諭鶴羽ダム(9:50/9:58)～登山口(9:59)～新倉神社
(10:10/10:15)～山頂 811:20/11:57)～諭鶴羽神社(12:10/12:23)
～諭鶴羽古道(12:25)～黒岩(13:14)～黒岩水仙郷(13:22/13:50)

第二神明が道路工事の為13kの渋滞、しかし予定通り10時前に淡路島最高峰諭鶴羽山ダム登山口に到着。登山口からは思いもよらない急登があり山道と言う感あり。10分程上ると神倉神社へ、小休止をとる。そして登山道の裏参道を通して山頂へ。

この道は諭鶴羽古道といい発掘された丁石が数基登山者の安全を見守ってくれているように並んでいる。温暖地方なのにまだ道端には雪が残っている。春には桜、秋には紅葉、樹木は殆んど自然林、小鳥のさえずりも聞こえる。気持ちいい木漏れ日のなだらかな道を進む。

山頂から大阪湾、明石海峡大橋、四国の山並みと展望もよく、まじかに海を見ながら食事とする。暫くすると10人程のグループが上って来て急に騒々しくなる。がしかし私達「女三人よれば……」負けず劣らずだったとか…

山頂から辻さんとは一時別行動をとる。私達は黒岩まで縦走し、辻さんは登山口まで戻り車をわざわざ黒岩まで回送して頂き落合うこととなった。

女性三人山頂より暫く下ると淡路の山岳霊山諭鶴羽神社に到着。神社にはタブの森、アカガシの森、親子杉、ユズリハの幼木が見られる。この山は譲葉山とも古書に載っているそうです。

静かな鳥居の前に諭鶴羽古道表参道入り口の標識がある。裏参道と違いぬかるんでいたのです。る箇所ありの山道、また古道には真新しい説明板が所々にあり勉強？しながらゆっくりと下る。

辻さんの方はとても時間がかかるはずなのだが私達より早く到着。暫くして合流。

またまた女性のわがまを聞いて頂き水仙郷へと足を伸ばす。花の時期は少し済んでいたがまだ沢山の綺麗な花と香りを堪能することが出来た。海、山、花と至福の一日でした。
(記:杉村)

例会山行
湖北の山 《伊吹山》 (1377.3m)

【日 程】 3月13日(日) 晴れ

【参加者】 L辻・三島・田中(悦)・島崎・藤本

【コースタイム】 登山口駐車場(9:09)～一合目(9:28/33)～二合目(9:52)～
三合目(10:25/31)～五合目(10:52/11:01)～六合目〔アイゼン装着
(11:13/23)～山頂遊歩道出合(12:25)～伊吹山山頂〔昼食〕
(12:35/13:12)～六合目(13:49/55)～五合目(14:01)～三合目
(14:17/24)～二合目上部〔アイゼン取り外し〕(14:41/49)～二合目
(14:52)～一合目(15:06/08)―<林道>―登山口駐車場(15:45)

伊吹山は関西では数少ない「日本百名山」のひとつ。かつてドライブウェイを利用して山頂を訪れたことはあったが、ほんとうに「登った」といえるのは今回が初めてだ。

天気は快晴、真っ青な空に白く輝く独立峰の貫禄。下界から「眺める山」として素晴らしいのは言うまでもない。これに加えて頂上からの眺望を期待しつつ、裾野のスキー場からとりつく。二合目まではほとんど雪はなく、滑りやすい泥の道を進めば、三合目近く、完全な雪道となり、目の前には秀峰の全容が姿を現す。日光が雪面に照り返して眩しく、とても暑い。バランスの悪い私にとって、アイゼンなしの歩行では、ついよけいな力が入ってしまい、すでに一枚だけになっているシャツも汗びっしょり。ようやく六合目でアイゼン装着、急登が始まる。傾斜は最大で45度を越えていそうだ。青い空と白い尾根の境界がなかなか近づいてこない。何度も停まりながら、皆無言でゆっくりと進む。一時間以上のアルバイトのすえ、やっと見覚えのある山頂遊歩道に出る。山頂部分はさすがに風があって、全身の汗が冷える。山頂で記念撮影のあと、鈴鹿、比良、越前の山々を眺めながら昼食。

下りは登り以上に大変だった。太陽に照らされた雪が緩んで、アイゼンの刃がきかない。何度も転倒、しかも立ち上がる前に体がどんどん滑っていく。ストックでは雪面にフィックスができず、幾度かほとんど滑落状態(下まで滑っても危険はないが…)。重心を踵(かかと)に集中させれば滑りにくいことに気づいたのは、急斜面ももう終わり近くだった。

登りも下りも大いに体力を消費したのか、帰宅してその晩はとてもよく眠れた。そして、朝起きると顔が真っ黒だった！ (記：藤本)

例会山行2
度会山系 《七洞山》

【日 程】 2011年3月20日(日) 〔天気〕 晴れのち曇り

【参加者】 L 島崎・田中悦・田中初・多賀・林・辻・藤本・内田

【コースタイム】 上牧駐車場(7:00)～ナンジャモンジャ広場(9:05)～
登山口(9:45)～P 4 8 6 (10:23)～板取分岐(11:20～11:50)頂上
(12:20)～展望台～七洞岳(12:40/12:45)～板取分岐(13:17)～
P 4 8 6 (13:33)～登山口(14:45)～ナンジャモンジャ広場(2:30)

中止かと開いたメールに、明日行きますとのこと、気持ちは行かない方向で落ち着いていたので、少し切り替えるのに時間がかかりましたが、当日の空模様に、少し安心して出発、2時間ほどで駐車場に着きました。

登山口までは四駆しかはいらないとのこと40分歩きました。P486で休憩、途中かなりの急騰もありましたがとても素直ないい道でところどころ、局ヶ岳、ピンととんがってない方向からの高見山も見えました。

板取分岐からは、ごろごろした岩場もあり変化に富んでいました。頂上からは、少し英虞湾も見え、山に登るのはこの景色が味わいたくて来ているというのを実感します。頂上から10分ほどで展望台というから出発しましたが、どんどん下って行きます。やがて見晴らしのいい大きな一枚岩に



出てそこが展望台。帰りは雨の心配から駆けるようにして下山、登りの半分ぐらいの時間で登山口までいき何とか雨に会わずにすみませんでした。とても私にはいい山でした。

(記:内田)

室内例会だより

【日 時】2011年2月23日(水) 19:30~20:30 事務所

【出席者】島崎、田中悦、田中初、辻、林、都築、平田、村田、藤本、
高橋、勝尾、杉村、内田、内藤、玉越、藤井(16名)

1、山行報告

1月23日(日) 例会山行 綿向山 L島崎 8名

1月29日、30日 平日山行 子ノ泊山、烏帽子岳 L三島 2名

2月6日(日) 県連リーダーハイキング学校 比良堂満岳
6名参加(西大和2名)

2月6日(日) 自主山行 北八ヶ岳 北横岳 L辻 4名

2、連絡その他

- ・クリーンハイク 5月29日(日)
金剛山 郵便道 L田中悦
JR御所駅 8:40 集合
上牧町役場 7:40 集合
- ・県連総会 3月6日(日) 13:00~
王寺地域交流センター
西大和が担当のため島崎、多賀、勝尾、藤井が出席
代議員 藤本
- ・県連役員を西大和、こぶしから1名選出する。
運営委員会で協議する。
運営委員会 3月10日(木) 19:00~事務所
総会の資料作成
- ・会員証を配布する。
- ・西大和定期総会 3月28日(日) 事務所
総会 13:00~
室内例会 15:00~
終了後 王寺黒べえで打ち上げの予定
- ・王寺町の玉越啓子さんが入会されました。